

お坊ちやまの
性処理道具に
された

僕の母





母が
午後から
家政婦として
働くことになった

う、うん…



それじゃ
ユウイチ

母さん行ってくるから
戸締りはしっかりね

金持ちの家が
家政婦を
募集していたのは
ウチにとっては
幸運なことだった

女手一つで
子どもを育てるのは
大変だ
でも金持ちの
家政婦ともなると
一日数時間でも
結構な
収入になる



これも
生活のためだからね
我慢してちょうだい

わかってるよ

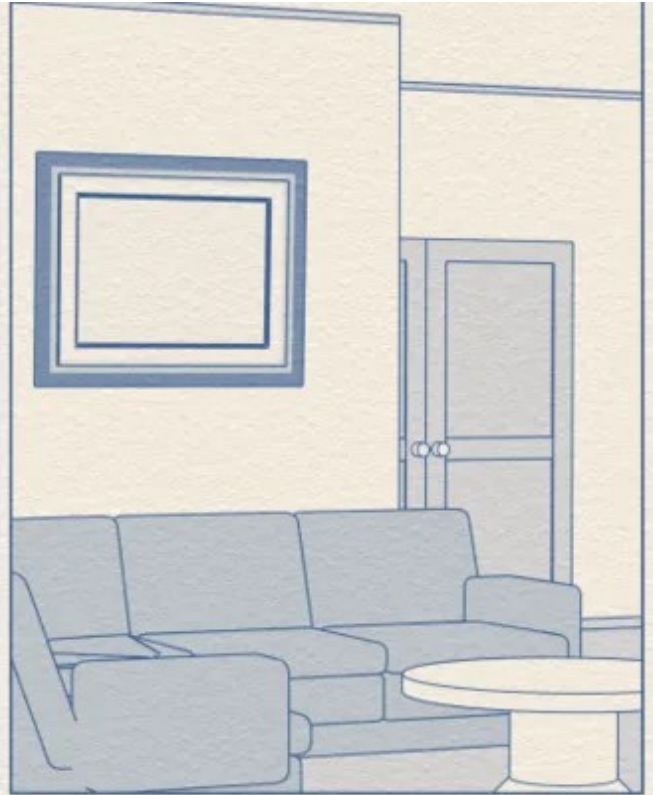
お坊ちやまの
性処理道具にされた

僕の母

UKI_S



ミツルや
母親のいない
お前のために
また新しい
家政婦を
雇ってやったぞ



はじめまして
サチコと申します

母親代わりとして
今日から
お世話をさせて
いただくことにな
りました



どうぞよろしく
お願いいたします

ミツルです

スツ

よろしくね！
サチコさん

ガシムッ

?





まあ
嫌なら
いつでも
辞めてください

金に困っている
女性は他にも
大勢いますからな

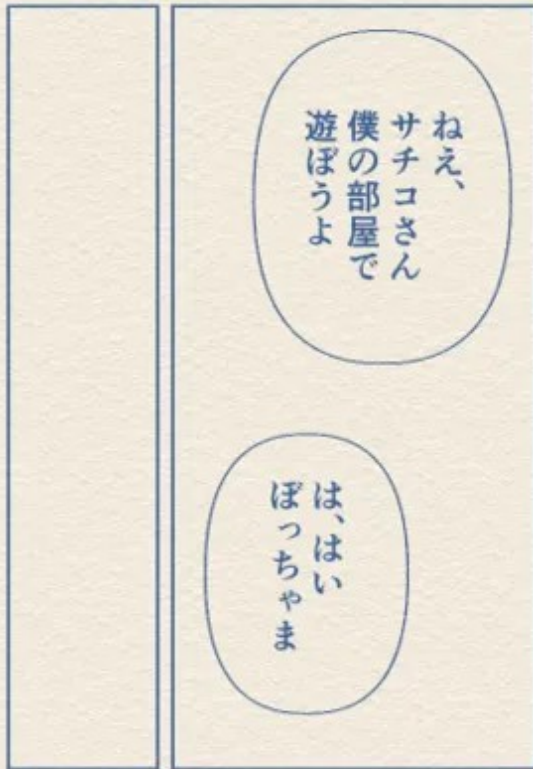
ニコ

ニコ



ほっほっほっ
ミツルは
母親の温もりに
飢えているのです

さっそく
おっばいに
甘えたいようすな



ねえ、
サチコさん
僕の部屋で
遊ぼうよ

は、はい
ぼっちゃん

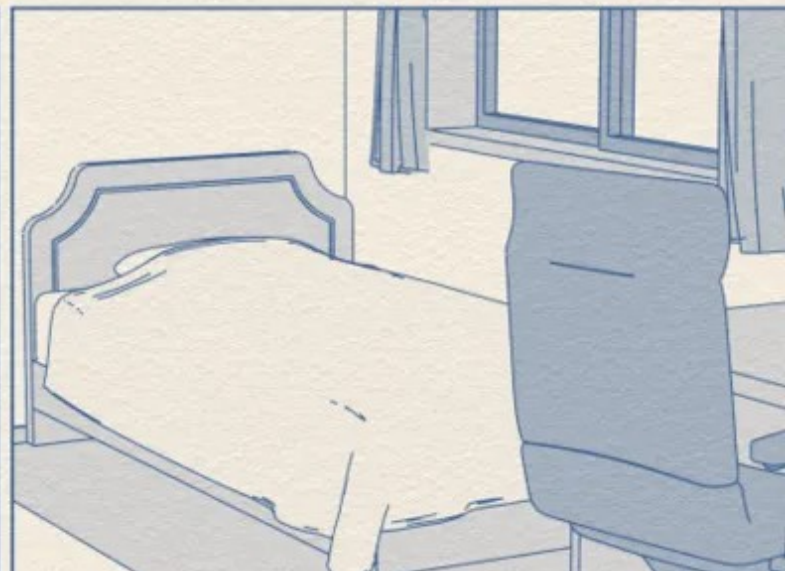


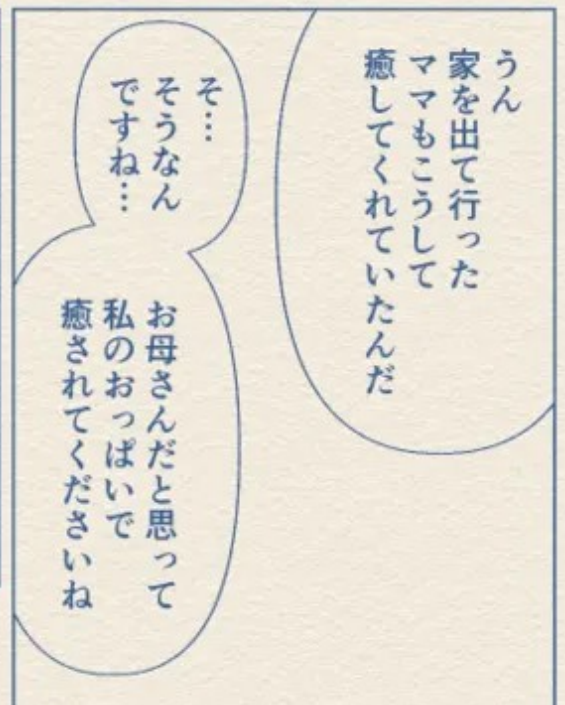
いいえ
息子の相手
で慣れて
おりますので…

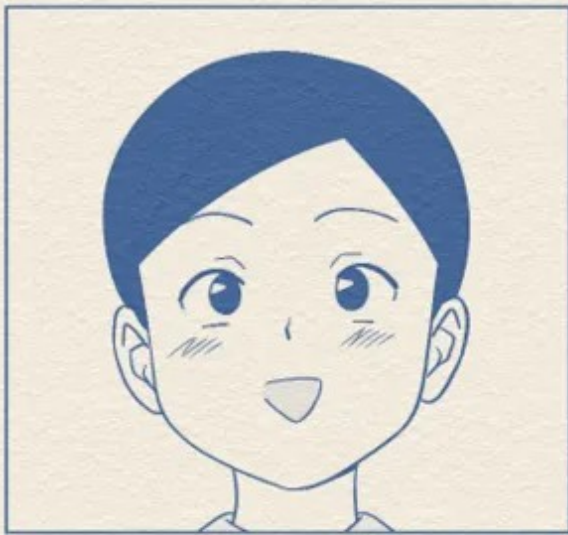
母親代わり
だものね…
これぐらいなら…



……









ふーん
じゃあ仕方ないか…
その代わりサチコさんは
今日でクビだからね
パパにサチコさんが
甘えさせてくれないって
言うから…

この仕事…
いつも募集してるのは
この子のせい…

……

でも…
これぐらい
なら

こ、これで
よろしいでしょうか
ほっちゃん

いいね
その調子
そのまま次は
キスだよ

え？

家を出て行った
ママがよく
してくれて
いたんだ

はあ…
それでは…
ほっぺに

チュ

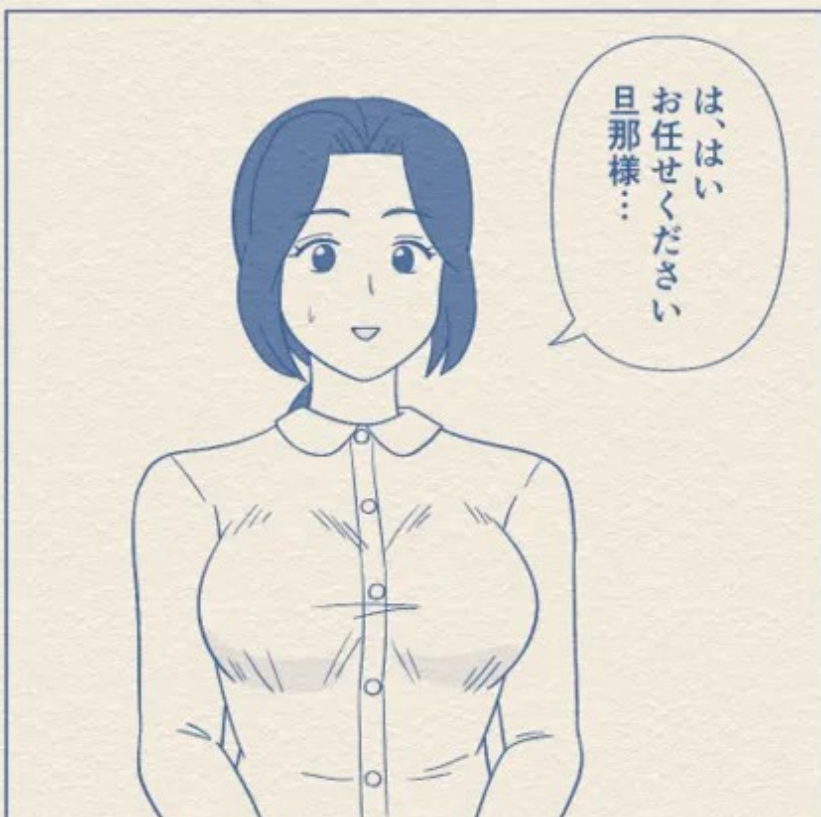


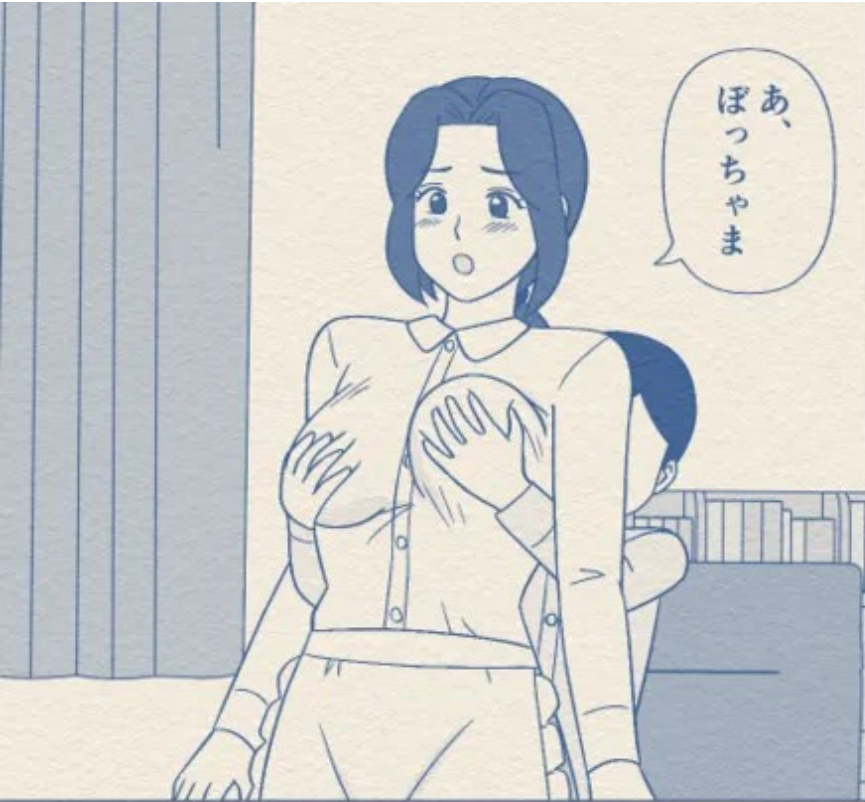


はあ
はあ
Shi Shi
Shi Shi

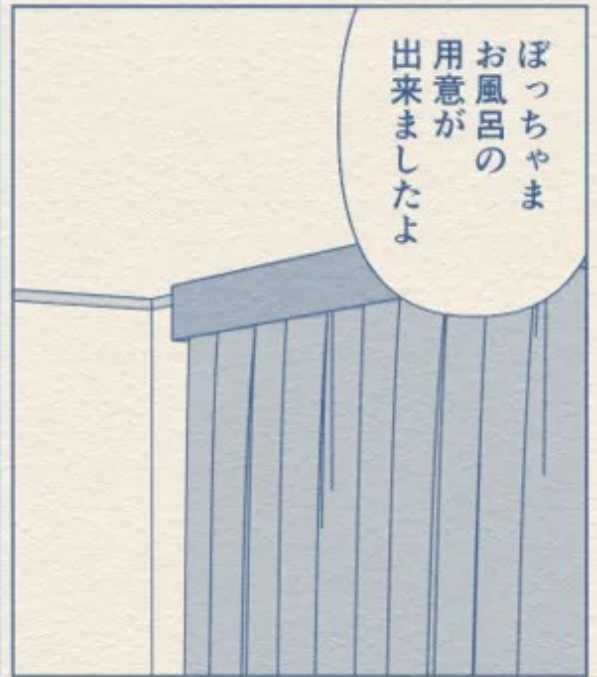




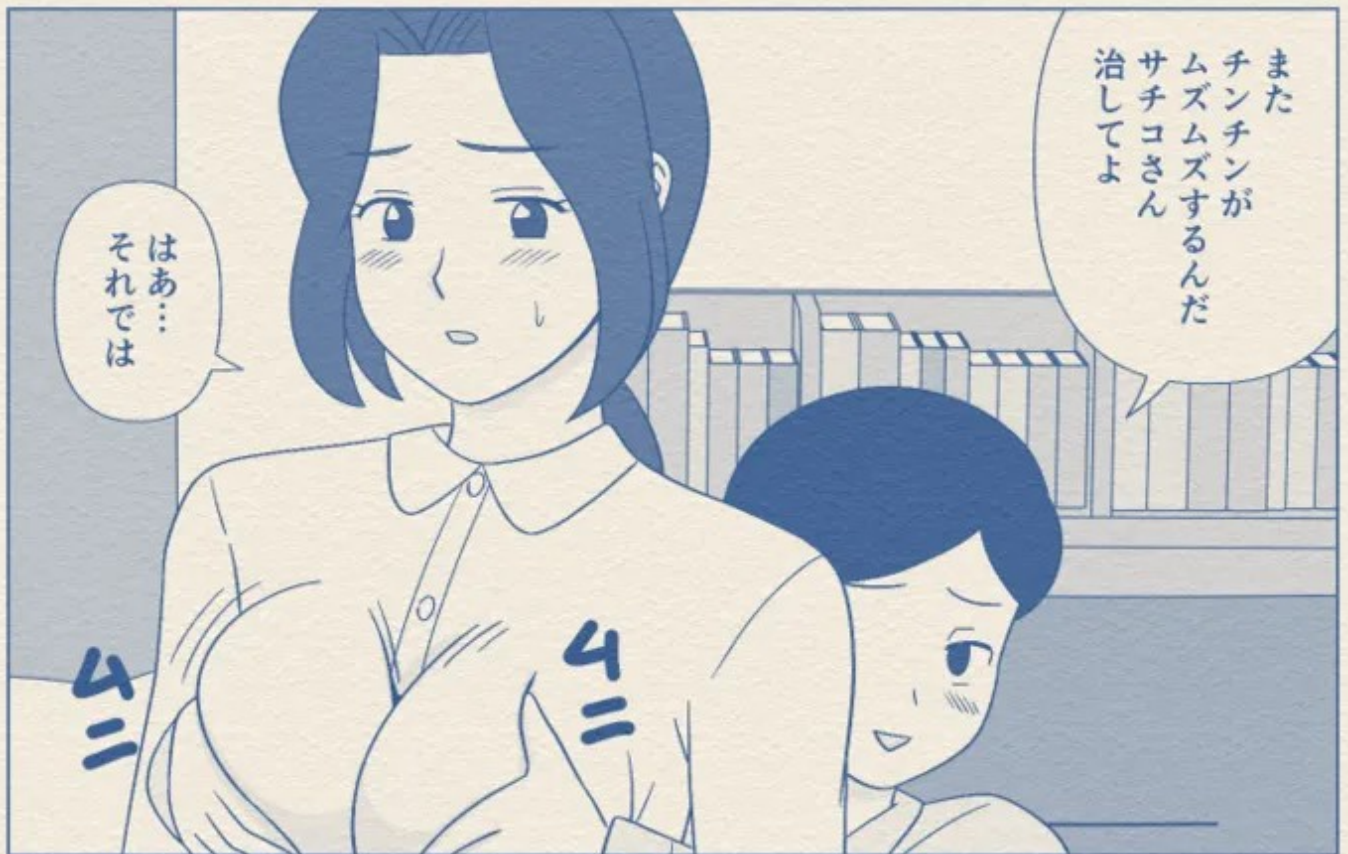




あ、ほっちゃんま



ほっちゃんま
お風呂の
用意が
出来ましたよ



はあ...
それでは

また
チンチンが
ムズムズするんだ
サチコさん
治してよ



次は
口でしてよ



まって...
手だけじゃ
つまらないよ

え?



ふーん…
じゃあ
もういいよ



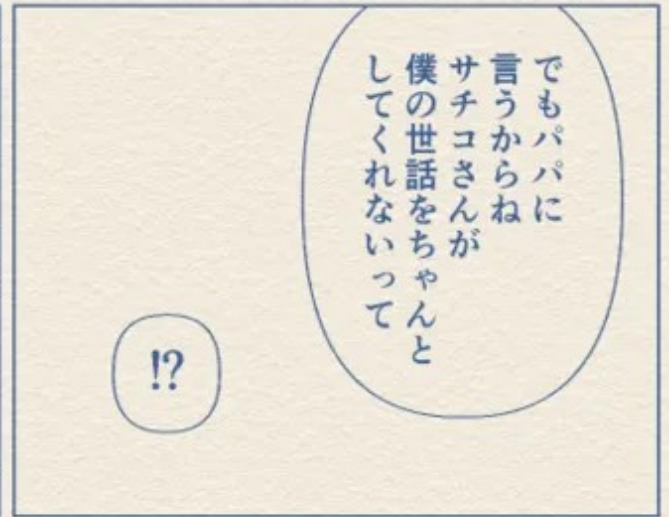
それは…

できません…
手でいたし
ますから…



私はちゃんと
しています…

クビになった
前の家政婦も
そう言ってたよ



でもパパに
言うからね
サチコさんが
僕の世話をちゃんと
してくれないって

!?

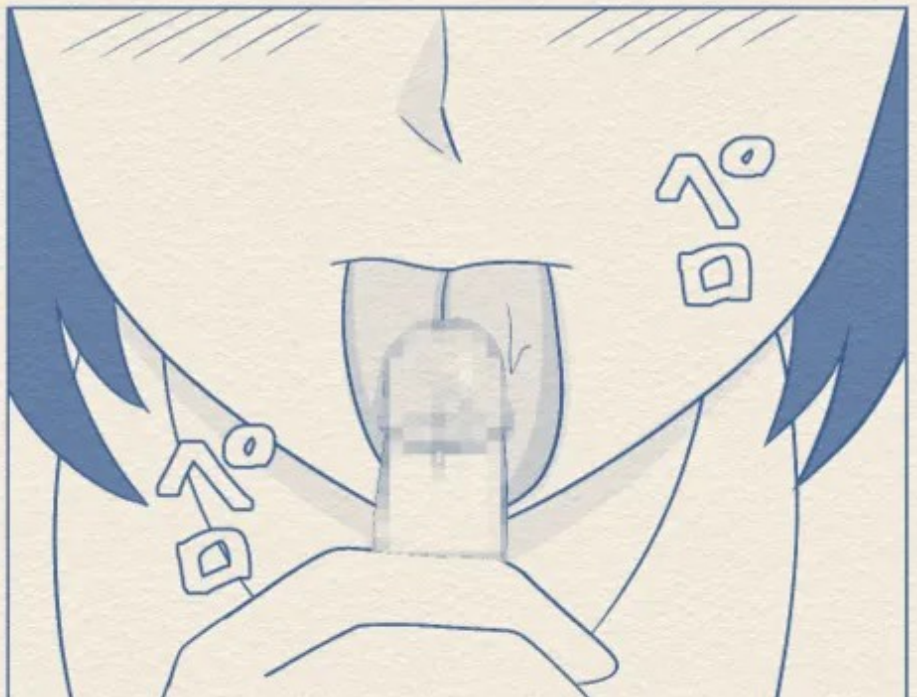


お待ちください
ほっちゃま…

わかりました
から…



まあ、
せいぜい
頑張ってよ







ただいま
ユウイチ

おかえりなさい
母さん

お金持ちの
お坊ちやま
嫌な奴じゃ
なかった?

素直な良い子よ
ちゃんと言
うことも聞
いてくれるわ

へー、そうなんだ
お金持ちだから
ワガママで嫌な奴か
と
思っ
て心配してたんだ

ふふっ
そうなのね
でも大丈夫よ

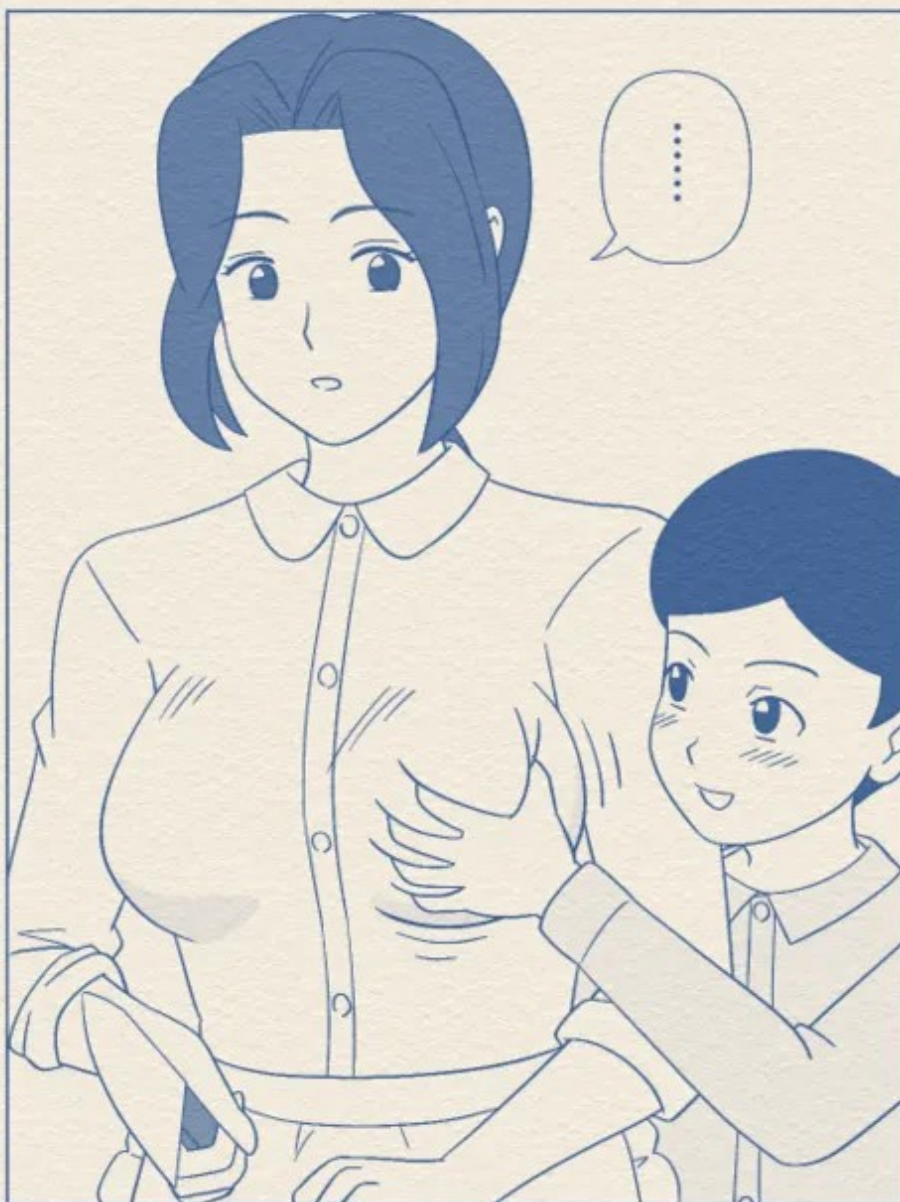
今日一日で
ずいぶん仲良
くなったから
しばらく
お母さんが
お世話を任
されること
になったの

へー、すごいや
さすが母さん

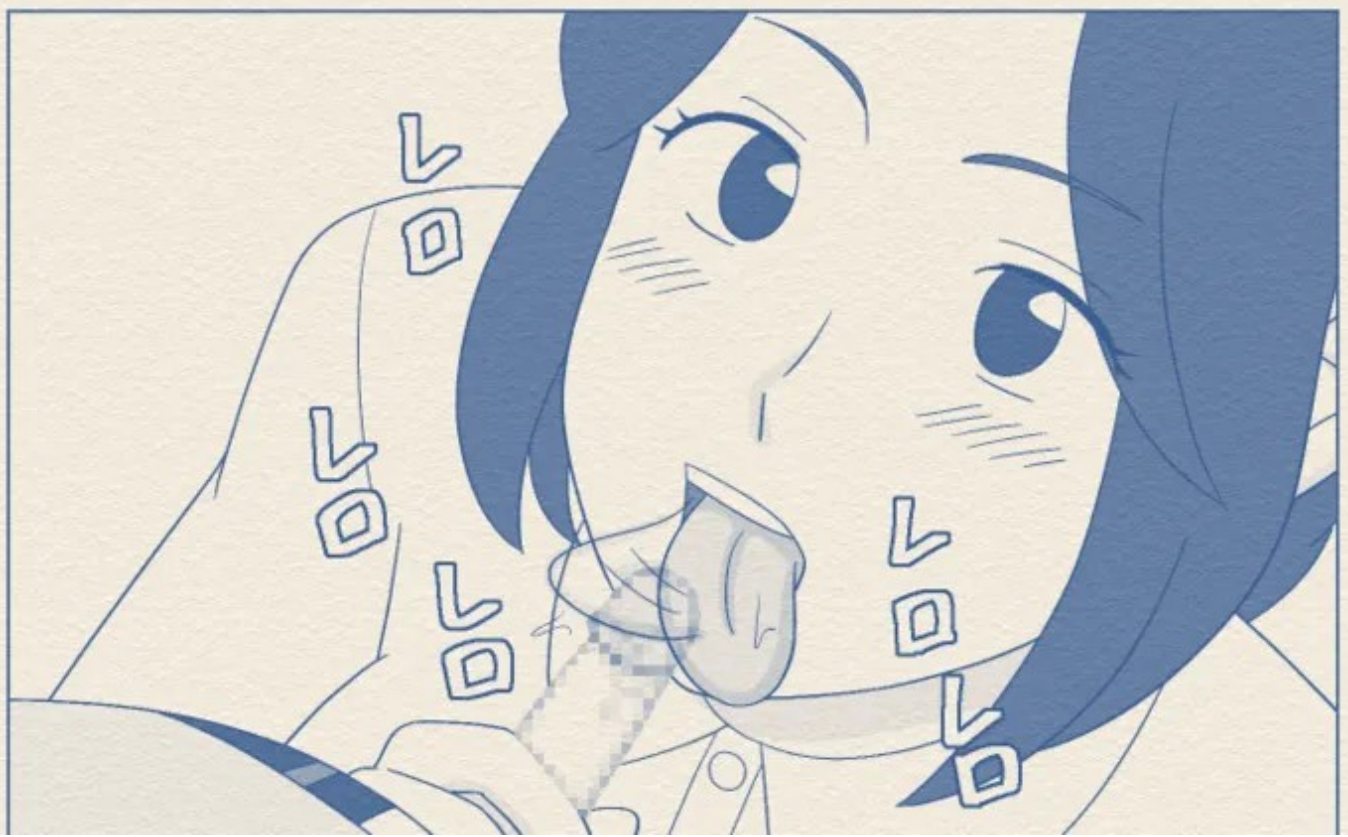
母の口の端に
白い何かが
ついてるよう
に見えたが

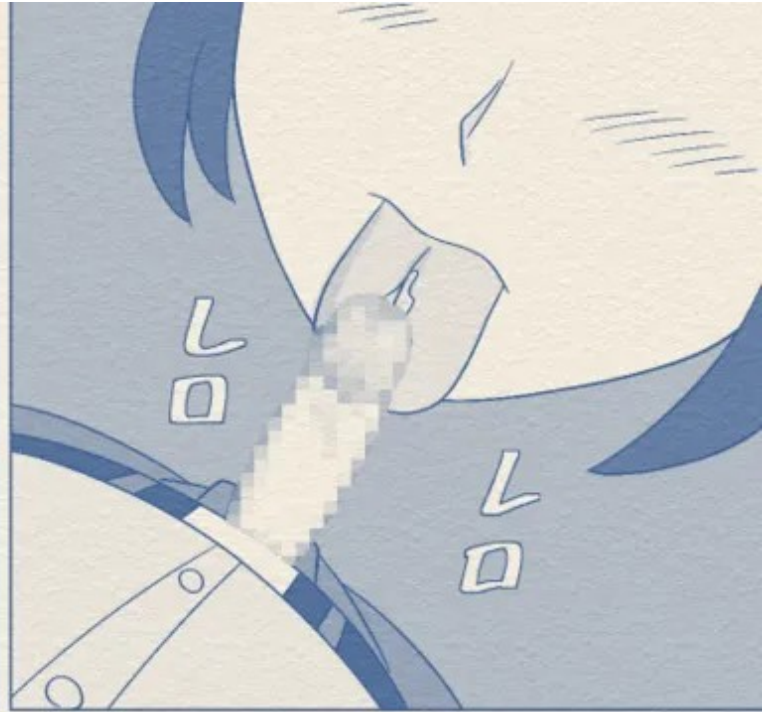
その時の僕は
それがなんなの
かよくわからな
かった

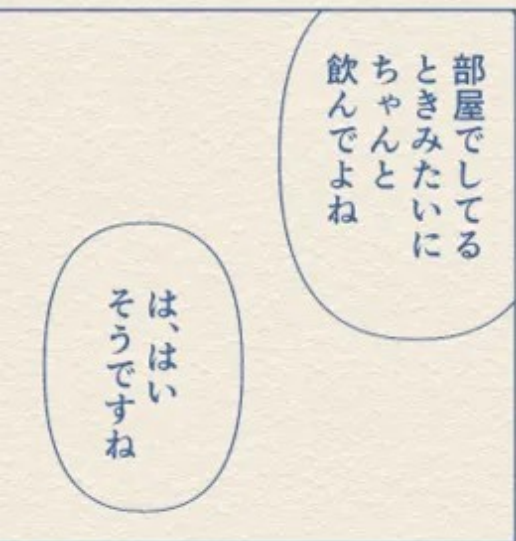














サチコさん

これからも
僕の言うことを
聞いてたら
悪いようには
しないからね？

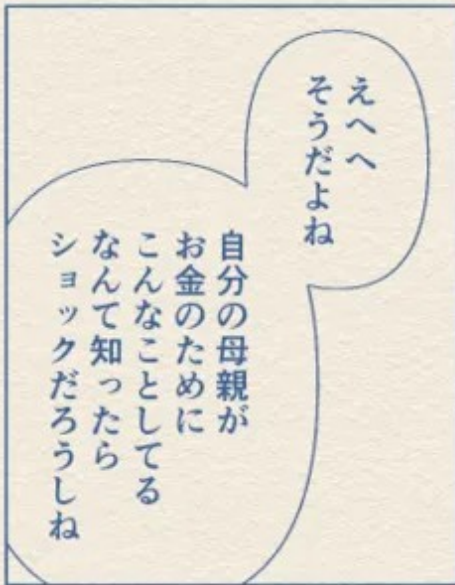
お願いしますね…
ここまで
しているの
ですから…



……

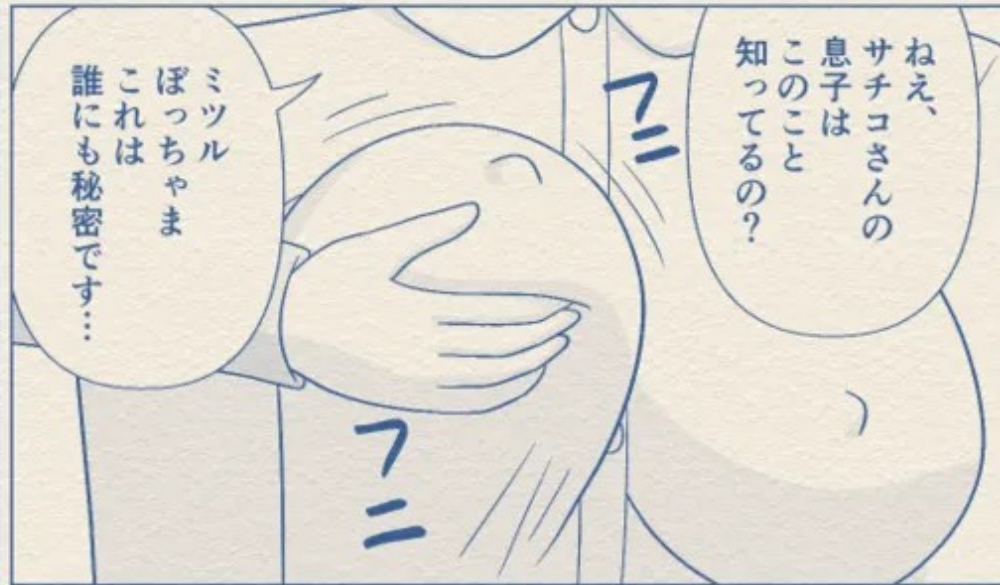
ハア

ハア



えへへ
そうだよ

自分の母親が
お金のために
こんなことしてる
なんて知ったら
ショックだろうしね



ねえ、
サチコさんの
息子は
このこと
知ってるの？

ミツル
ぼっちゃま
これは
誰にも秘密です…

フニ

フニ



もう…
ミツルぼっちゃま
ったら…



ぼ、ぼっちゃま…
息子にだけは
言わないで
くださいね？

そのかわり、
私がぼっちゃまを
沢山気持ちよくして
差し上げますから…

えへへ
なんか
また立って
きたよ



一カ月後
母はお坊ちやまに
気に入られたらしく
帰りが遅くなることが
増えてきた

僕は
なんだか
不安だった…

それじゃ
ユウイチ、
お母さん
行ってくるわね

いって
らっしゃい

今日も
少し遅くなるかも
しれないけど、
9時までには
帰ってくるから

ね、ねえ…
ミツルくんの歳って
僕の一つ下なんだよね？
どんなお世話してるの？

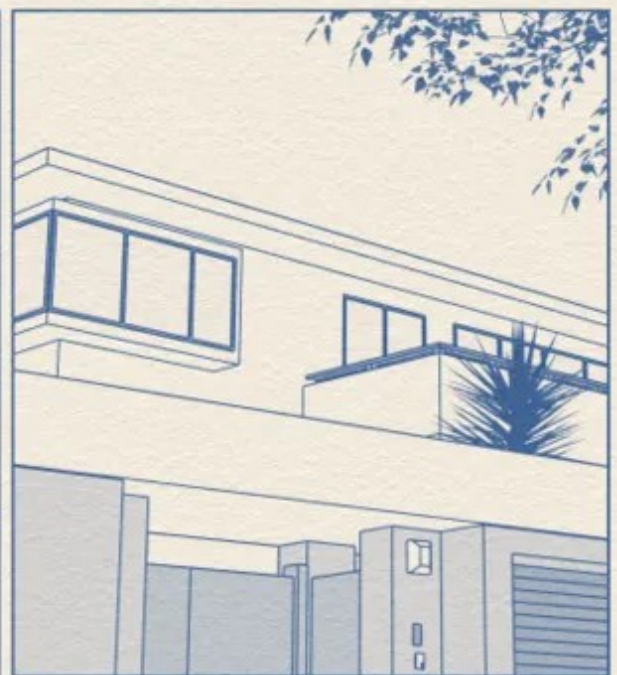
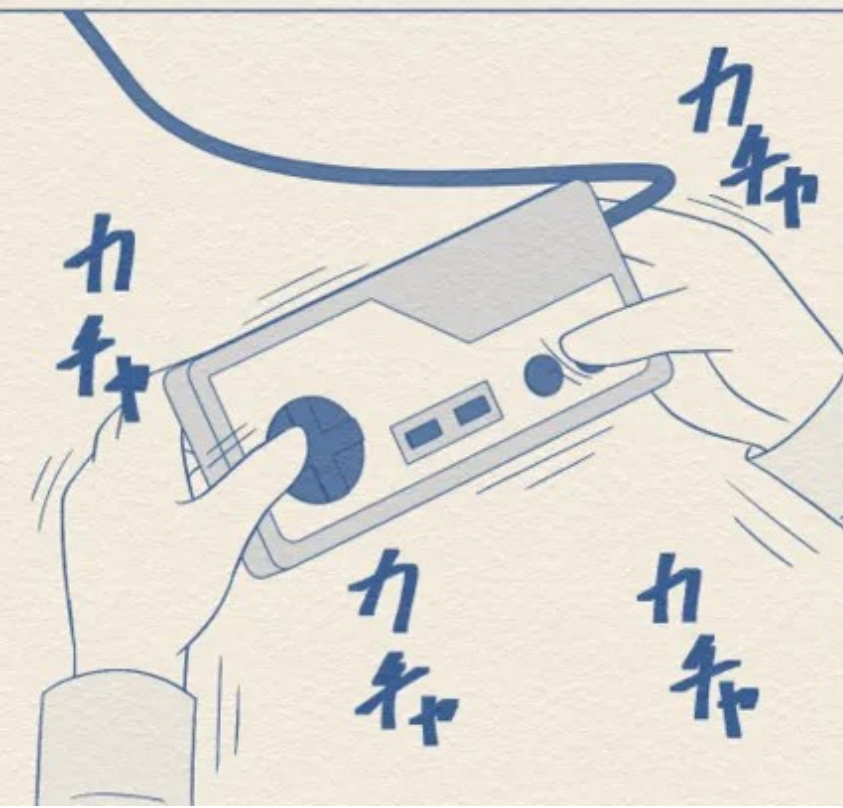
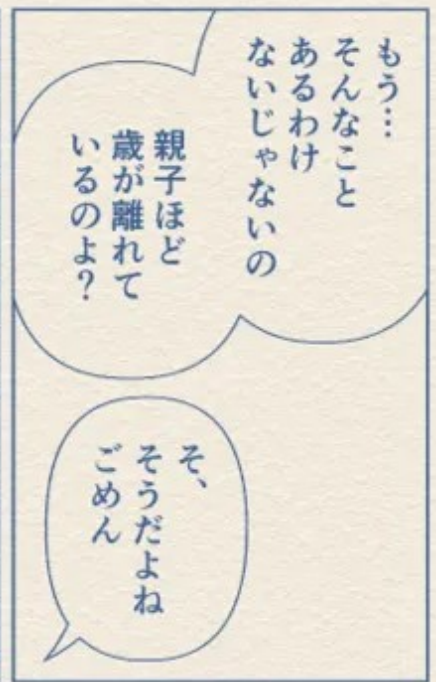
急にどうしたの？
ただの子守よ

…夕方まで
おやつを用意したり
少し遊んだりして
夕飯とお風呂の
お世話をして
おしまいよ

お風呂!?
お風呂って
一緒に入るの？

ふふっ
そんなわけ
ないじゃない
お風呂の準備をして
着替えを用意する
だけよ

じ…じゃあ
遅くなってる
ときは何してるの？







サチコさん
息子のユウイチ君も
このゲーム
してるんでしょ?
今度勝負させてよ

そ、そですね...
ユウイチに
話してみますね...

約束だよ

さてと...
今日は
中に出しても
いい日だよ?



はい...

今日は
安全日ですので...

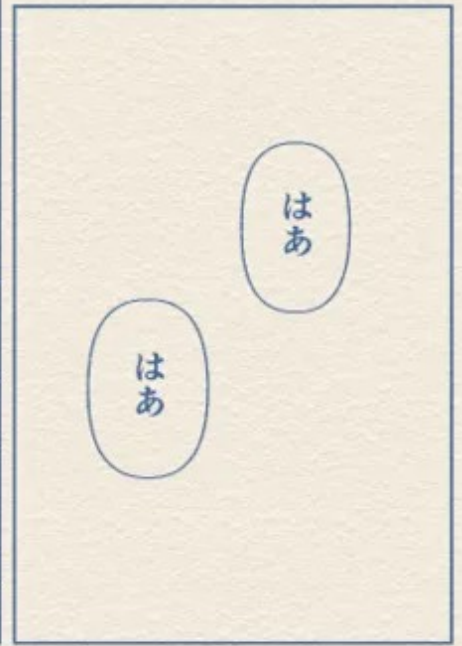


承知しました
ぼっちゃま...

えへへ
今日は
沢山しようね

ヌッ

クニ



はあ…
気持ちよかった
あ、そうだ
サチコさん

ユウイチくんは
会っても僕らの関係は
黙っておいてあげるから
安心してね

は、はい
お願いします

サチコさんは僕の
お気に入りだからね…
特別に
扱ってあげるよ…

ありがとうございます…
ごさいます…
ぼっちゃま…

ナゲ…
ナゲ…





こんなこと……
いつまでも
続けられない……

でも……
もう少し
お金が溜まる
までは……

サチコさん
いつものように
ベッドで
足を開いて

はい……
ぼっちゃま

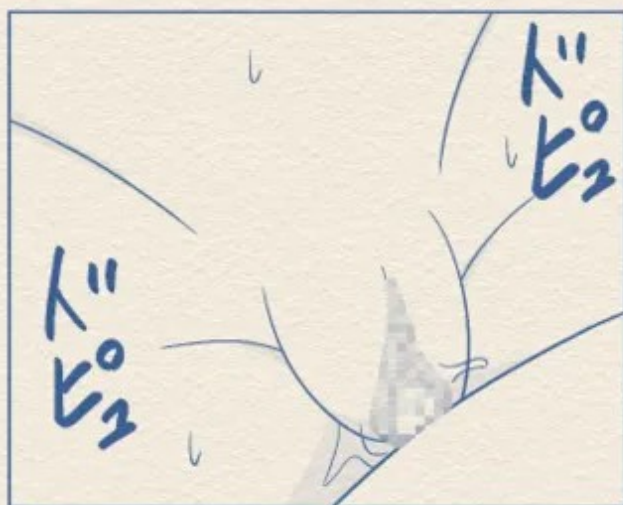


ぼ、ぼっちゃま……!

パ
ン
ン
ン
ン
ン
ン



ニ
ン
ン
ン
ン
ン

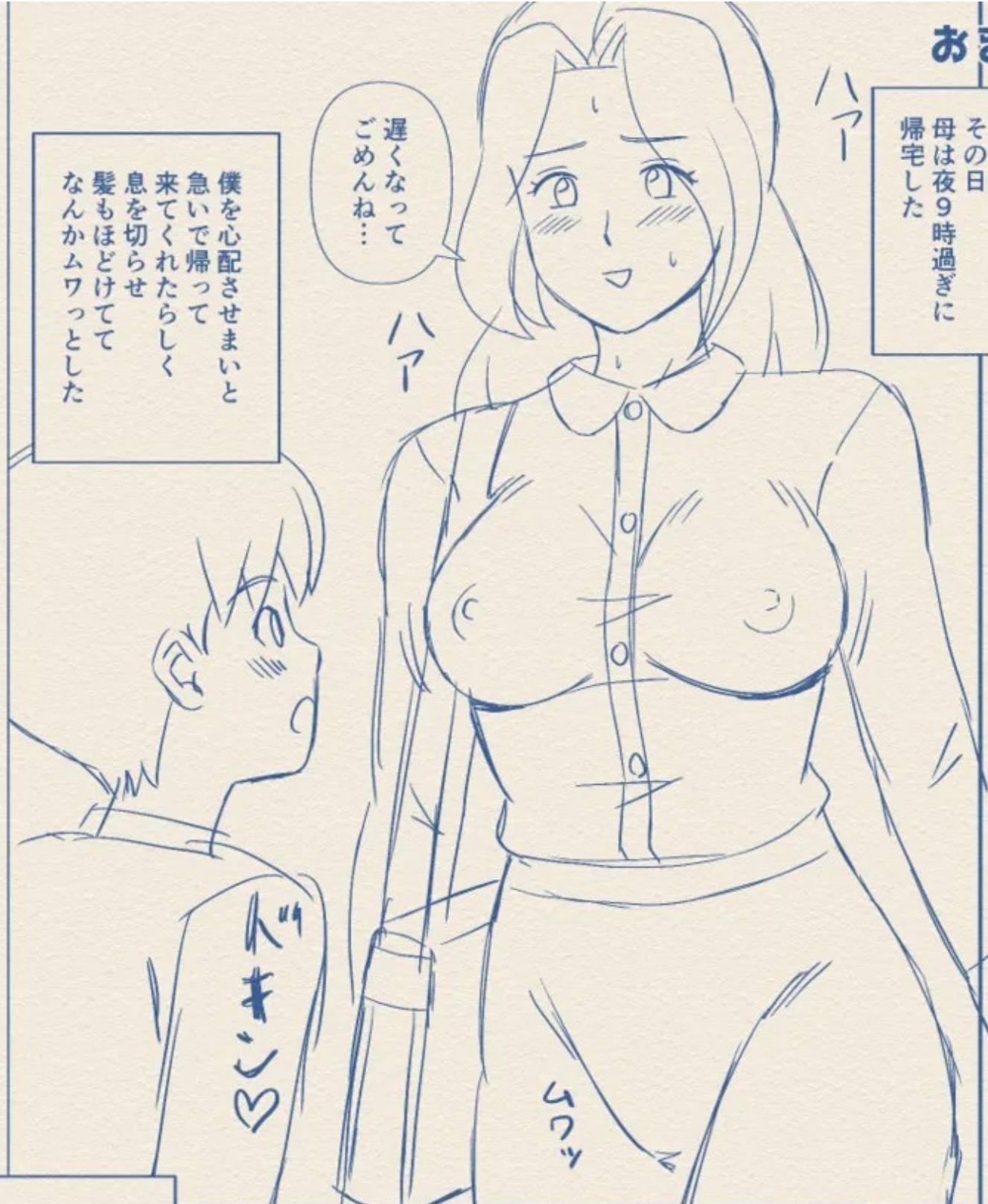


END

その日
母は夜9時過ぎに
帰宅した

遅くなって
ごめんね…

僕を心配させまいと
急いで帰って
来てくれたらしく
息を切らせ
髪もほどけてて
なんかムワっとした



おまけに
ブラをしまったのか
汗でおっぱいに
張り付いたブラウスから
乳首が透けて見えていた…
まさか
痴漢に襲われた？



お坊ちゃまとの
ゲーム勝負の日

僕がゲームに
集中していると
お坊ちゃまが
母のおっぱいを…

い、いいのよ
ユウイチ…
ミツルぼっちゃまは
ただ甘えてるだけ…
ユウイチも
小さい頃は
よく私のおっぱいを
触ってたじゃないの

え…
ミ、ミツルくん
なにしてるんだよ！

いや
それは昔の話だし！
母さんは僕に触らせて
くれないじゃないか
やっぱ二人とも怪しい！

そ、そう？
ユウイチが
乳離れ
しただけでしょ？

ユ…ユウイチも
甘えたかったら
いつでもいいのよ？

え！
ほんと!?

その日から
僕は
母のおっぱいを
いつでも
触れるようになった…

**お買い上げ
ありがとうございました**



お坊ちゃまの
性処理道具にされた僕の母

発行 うき式
2024年4月22日

© 2024 UKISHIKI